

あぶろうち

つながろう
NIPPON 連合

災害情報

連合群馬災害対策救援本部ニュース No.12 2011.06.23

1. 連合群馬では、救援カンパ金 総額 565 万円を集約！

県連合は6回目となる街頭カンパを6月8日(水)夕刻、太田駅南口で行いました。また、各地協でも街頭でのカンパ活動(高崎・伊勢崎・太田地協)や行事ごとに参加者への呼びかけ(桐生地協)を行うなど、さまざまな取り組みが展開されています。

この間の街頭カンパや地協独自の取り組み、ふれあいフェスティバル、構成組織で集約されたカンパの総額は5,654,355円となりました。皆様の心からのご協力に感謝するとともに連合本部へ全額送金いたします。

連合本部は、6月16日、第22回中央執行委員会を開催し、「連合東北地方太平洋沖地震災害救援カンパ」の配分を決定しました。6月14日現在、国内外から総額約7億3000万円のカンパ金が連合本部に寄せられましたが、そこから岩手県・宮城県・福島県に各2億円、茨城県・千葉県に各2000万円を直ちに交付することを決定しました。

また、3500万円が、連合救援ボランティア送迎バス代など「連合救援活動費」にあてられます。



後藤県議らも呼びかけに協力(高崎地協)



家族連れで賑わう華蔵寺公園(伊勢崎地協)



自転車で通行中の方からも協力(太田地協)

2. 関ブロ「第4次派遣団」復興の道のりは長く険しく！

5月26日～6月3日、関ブロ第4次派遣団に連合群馬新井副事務局長が参加しました。救援活動は、相馬市、飯坂温泉と会津若松市を拠点に実施しました。相馬市では、津波による被害を受けた民家の家財道具や汚泥の撤去を2日かけて一軒を担当し、飯坂では、被災して2カ月にもなる避難生活者への炊き出し、会津若松では避難者への物資の配給に向けた仕分け作業を行いました。

福島県においては、仮設住宅の建設も進みつつありますが、復旧作業がなかなか進まない現状があり、復興には程遠い状況で、まだまだ復興までの道のりは長く険しく、息の長いボランティア活動が必要であると感じます。



配給用にトイレトペーパーを仕分け



団員が整理した物資を受け取りに来ます
(物資支援センター内)

3 . ぐんま労福協ボランティアへ派遣

6月16日～19日、ぐんま労福協が実施した福島県いわき市への災害ボランティアへ連合群馬から金子副事務局長と山田職員を派遣するとともに、多くの構成組織や福祉事業団体から総勢31名の参加がありました。

今回のボランティア活動は側溝のドロ上げで、1.5メートルもある側溝に入ってドロや砂を土のう袋へ詰め、トラックで1カ所に集める作業を連日行い、3日間で回収したドロ・砂は、土のう約1500袋分になりました。

今回活動した地区では、防風林のおかげで津波による家屋倒壊の被害は少なかったものの、建物の1階部分が津波による浸水で柱だけとなっている家屋や、ゴミやヘドロなどの異臭が残る現実を目の当たりにし、被害の大きさを実感しました。



土のう袋へドロを詰める作業



側溝から上げられた土のう袋



1カ所に集められた土のう袋

4 . 連合岩手 復興支援に向けて県産品を販売

連合本部が連合岩手の取り組みに協力することを確認しました。連合群馬でも岩手の県産品を販売し復興支援に協力することとします。

連合岩手・東日本大震災対策本部(本部長：砂金 連合岩手会長)は、地場産業が少しでも元気になればとの願いで、「岩手県産(株)特産品プラザららいわて」と協力して、県産品の販売に取り組んでいます。是非ご支援ください。

販売品目：「こむぎ工房 パンセット(冷凍)」、「岩手こだわり食べてみそセット」、「岩手麺セット(じゃじゃ麺・冷麺)」詳しくは、別添チラシをご参照ください。

注文方法：別紙注文用紙にて、FAXで直接「岩手県産(株)特産品プラザららいわて」へご注文願います。「ららいわて」より電話での注文確認後、7日～14日程度で商品をお届けします。

詳しくは「ららいわて」(TEL.019-626-8178)までお問い合わせ下さい。